

平成30年7月豪雨 早稲田学区 被災状況と災害対応の記録

〔記録：平成30年12月 早稲田学区自主防災連絡協議会〕

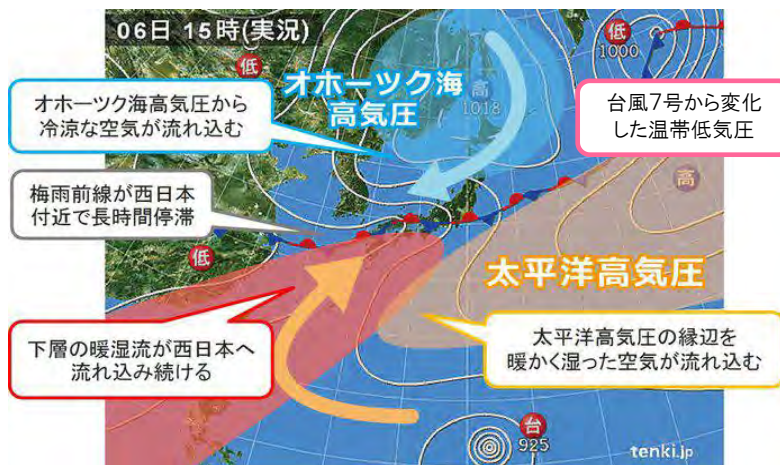
1. 気象情報

●平成30年7月豪雨の発生原因

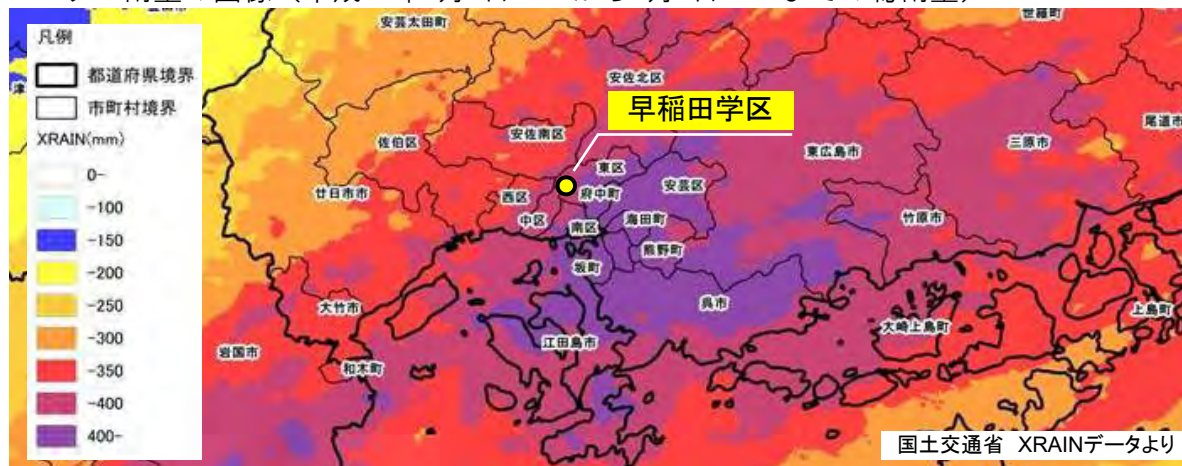
7月3日に五島列島を通過し日本海を北上した台風7号は、4日に日本海で温帯低気圧に変わった。この台風の通過後、5日から8日かけて梅雨前線が西日本に長期停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み続けたため、広範囲で大雨が続いた。

この梅雨前線による大雨で、広島市では7月5日から7日にかけて累計400mmを超える雨量を記録し、さらに時間雨量が40mm以上の強い雨が降った地域を中心として、土砂災害が多発した。

気象情報解説図
(tenki.jpより引用)



◇レーダー雨量の画像（平成30年7月5日9:00から7月8日0:00までの総雨量）



◇温品雨量観測所のデータ（7月5日9:00から7日12:00まで）

※牛田早稲田雨量観測所のデータは広島県のシステム異常により公式記録なし

